

## Snipping Tool (スニッピングツール) の「遅延」ボタンを試してみる

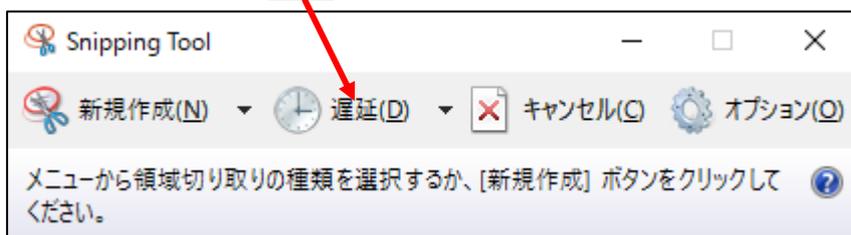
Snipping Tool は、パソコンの画面に表示されたままをコピーして、ワードなどに貼り付けられる機能です (以下、画面キャプチャと呼びます)。

画面を記録として残したい、操作手順の過程を残したい、インターネットなどの画像 (写真) をコピーしたい 等に用いられます。

Win10 の Snipping Tool を起動する。

スタート → アプリ一覧から、Windows アクセサリー → Snipping Tool

1. Win10 から、遅延 ボタンが追加された (Win8 迄は無かった)



2. 遅延 ボタンの役割・・・遅延ボタンをクリックすると、下図のように最初は 0 にポッチが付いています。

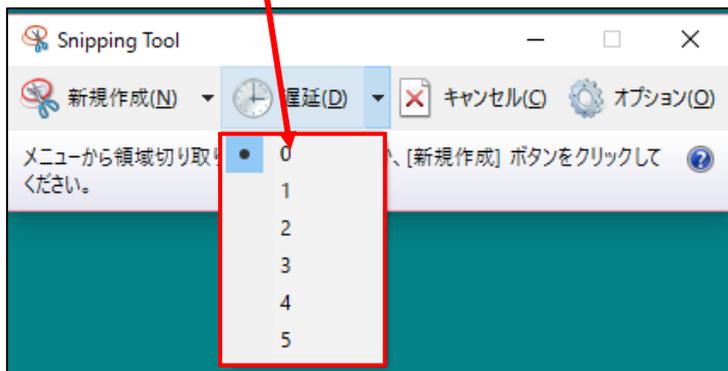
このままの状態、新規作成 をクリックすると、即座に画面キャプチャの動作に入ります。通常は、これで良いのですが、**画面によっては、キャプチャしたい部分が、新規作成 ボタンを押した途端に消えてしまう場合があります。**

操作例として、

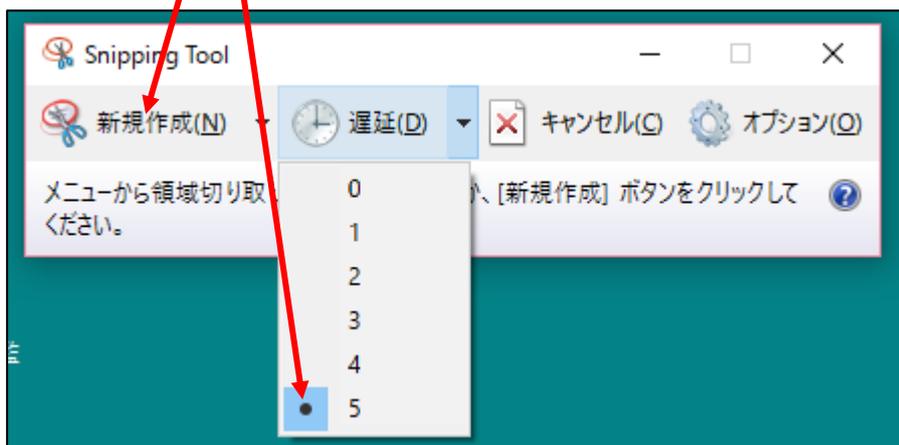
デスクトップの何も無い所で、右クリックをしてサブメニューを表示して、この状態をキャプチャしてみる

この場合、新規作成をクリックした途端に、サブメニューが画面から消えてしまい、キャプチャできない。これを回避するために、**遅延** の機能が付けられた。

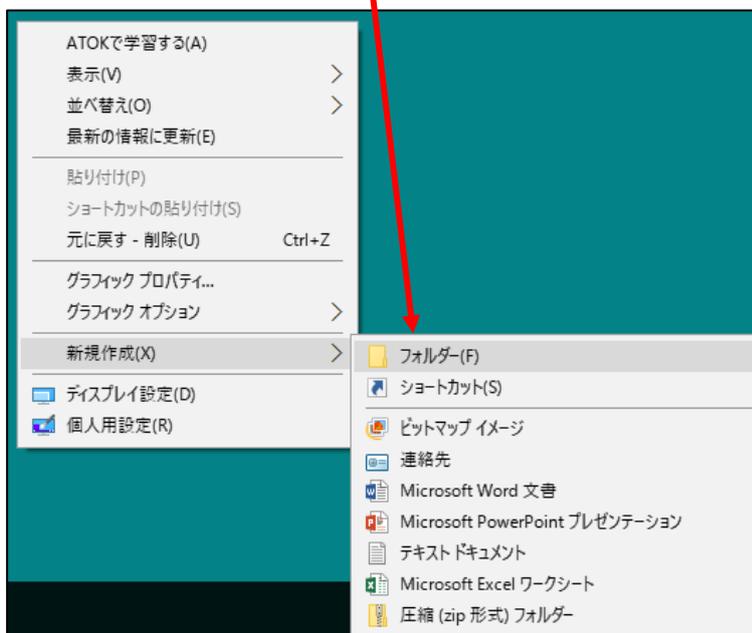
3. 遅延の 1～5秒を選択 (この時間は、新規作成 をクリックしてから、画面キャプチャが始まる迄の秒数である)



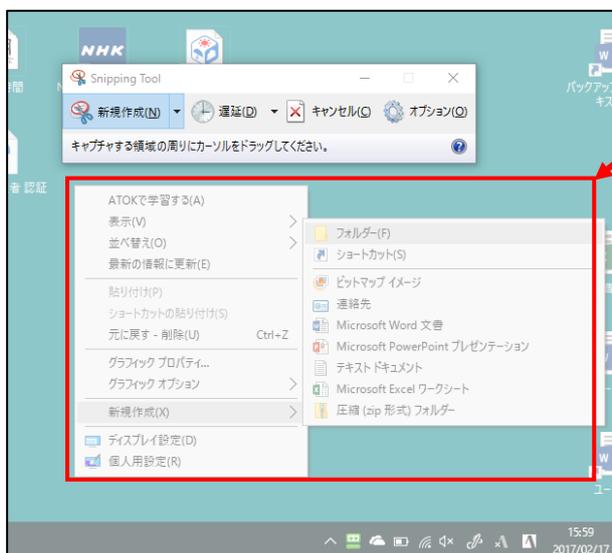
4. 例として、5 にポッチを付ける（新規作成を押してから5秒後にキャプチャが始まる）  
→ 新規作成 をクリック



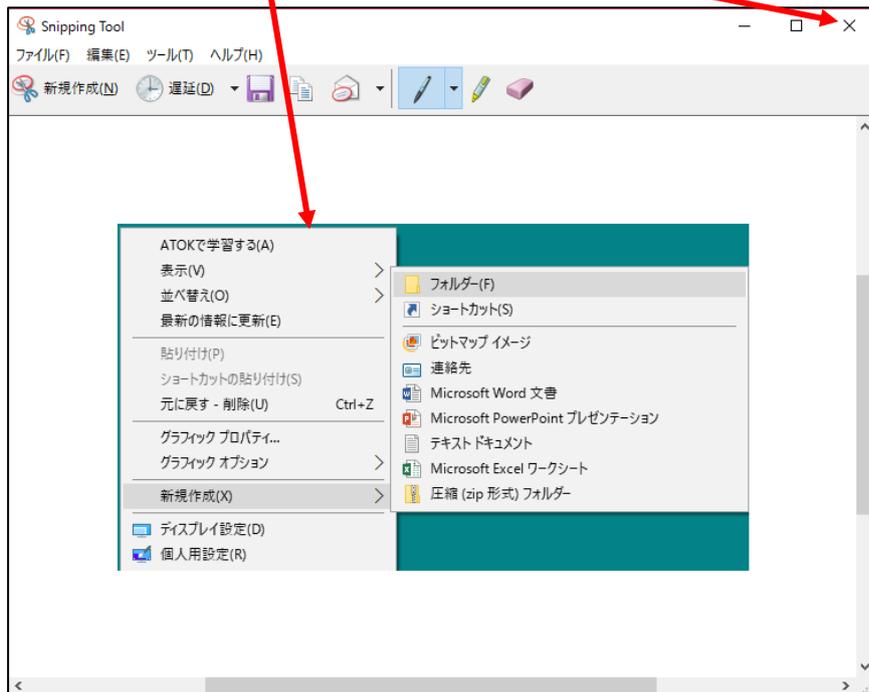
5. 5秒間の間に、画面キャプチャしたい画像を表示させる。



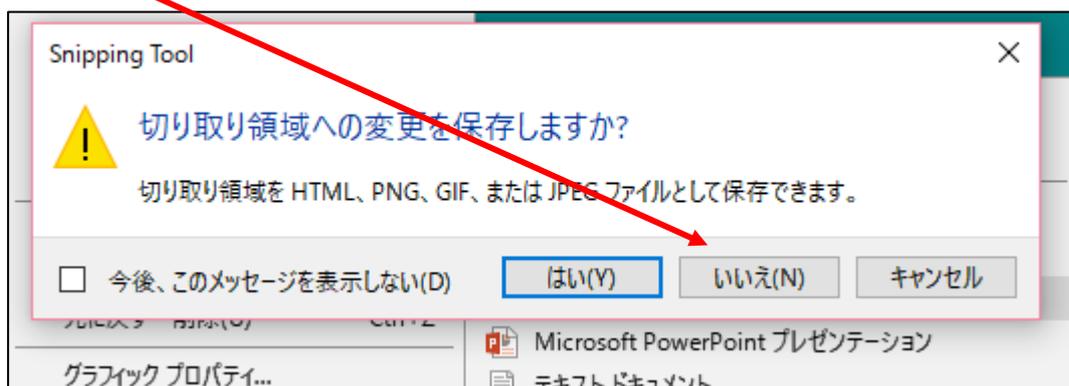
6. 5秒後にキャプチャが始まる → キャプチャ範囲をマウスで囲んで、マウスを放す



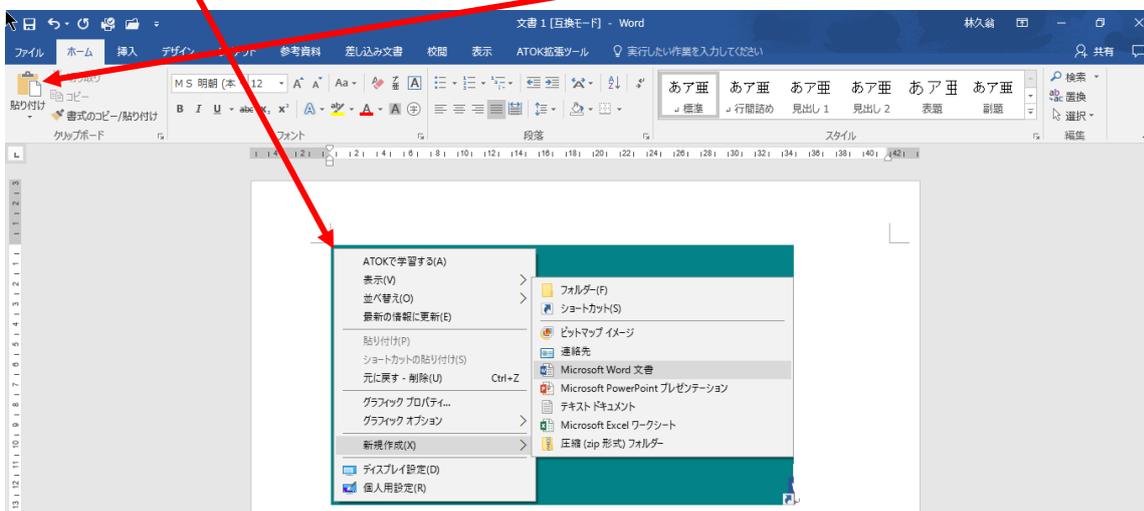
7. キャプチャ画像が表示される → 閉じる



8. いいえ をクリック



9. 貼り付けたいソフトを立ち上げ (例：ワード) → 貼り付け → キャプチャされた画像がワードに表示される → 完了です。



以上